

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	「歯と口の健康づくり」について
調査期間	令和3年12月9日（木曜）～12月22日（水曜）
設問数	全5問（分岐設問除く）
対象モニター数	5,120名
回答モニター数	3,398名（66.4%）

【調査結果概要】

歯と口の健康は、糖尿病、動脈硬化、誤嚥性肺炎など、さまざまな全身の健康に影響することがわかっています。神戸市では平成28年11月8日に「神戸市歯科口腔保健推進条例」を施行するとともに、平成30年4月には、「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」を策定し、（1）生涯、自分の口でおいしく食べる、（2）口の健康から全身の健康づくり、（3）健康格差の縮小の3つの目標を掲げ、歯科口腔保健事業を推進してきました。

この度、市民の皆様の「歯と口の健康づくり」に関する意識や行動についてお伺いするため、ネットモニターの方々へアンケートを実施しました。

問1 神戸市で実施している無料の歯科健診（検診）等の受診状況をお聞きしたところ
「過去に受けたことがある・案内が届いたら受けようと思う」という意見が55%でした。

問1—1「どれも受けたことがない・どれも受けようと思わない」を選択した方(1,009人)に理由を伺ったところ、39歳以下では「案内を知らなかった」、60歳以上では「かかりつけ歯科医で定期的な歯科健診を受けている」方が多いことがわかりました。

問2 オーラルフレイル予防のために、口の機能を保つトレーニングへの参加希望日では、「平日」が49%と多く、土曜日が30%でした。

問3 生涯、自分の口でおいしく食べるために神戸市のどの事業に力を入れて欲しいか（2項目選択）では、39歳以下は「20代・30代における歯周病検診」、40歳～59歳は「40代以降の歯周病検診」、60歳以上は「60歳代以降のオーラルフレイル（口の衰え）対策」が多い結果でした。若年者では「幼児期・学齢期におけるフッ化物（フッ素）の利用」についても多く望まれていることがわかりました。

問4 歯や口の健康に関する情報の主な入手先をお聞きしたところ、年代と性別により情報源に差がみられました。若年者ではインターネットやSNSが多く、高齢者では紙媒体の利用が多いため、紙媒体もインターネットも両方ともバランスよく使用する必要があるという結果でした。

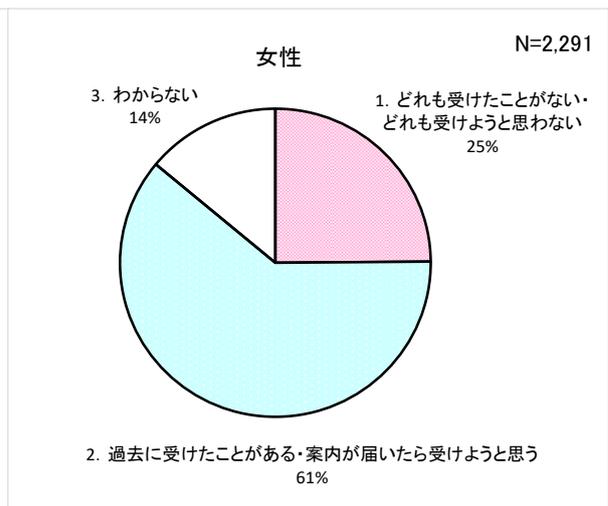
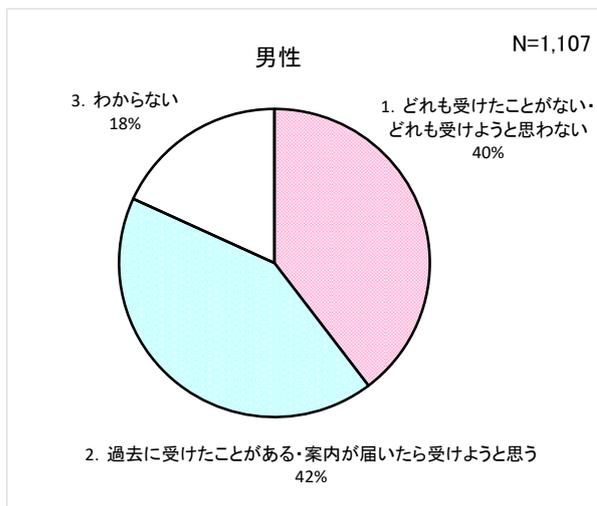
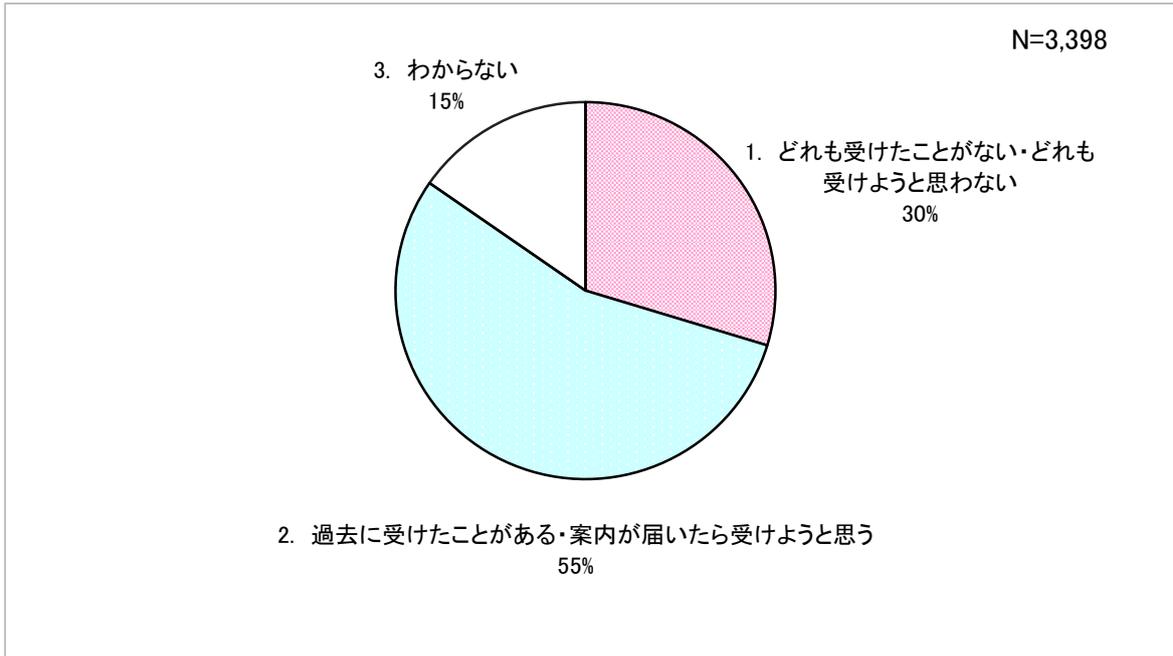
問5 歯や口の健康について、行政に望むこと（自由記載）では、975件のご意見を頂きました。多い順に、「歯科健診を一年に一回、無料で受けたい。」など定期的な歯科健診に関する希望が多く、次に、「義務教育で徹底的に歯科健康教育を実施して欲しい」など歯科保健に関する知識の普及に関する希望、その次に「繰り返し広報して欲しい」など市の広報に関する希望が多いという結果でした。

今後、この結果を踏まえ、市からの広報発信の強化などを含め、歯科口腔保健事業の推進に努めます。

問1 神戸市では、下記のような無料の歯科健診（検診）等を実施しています。

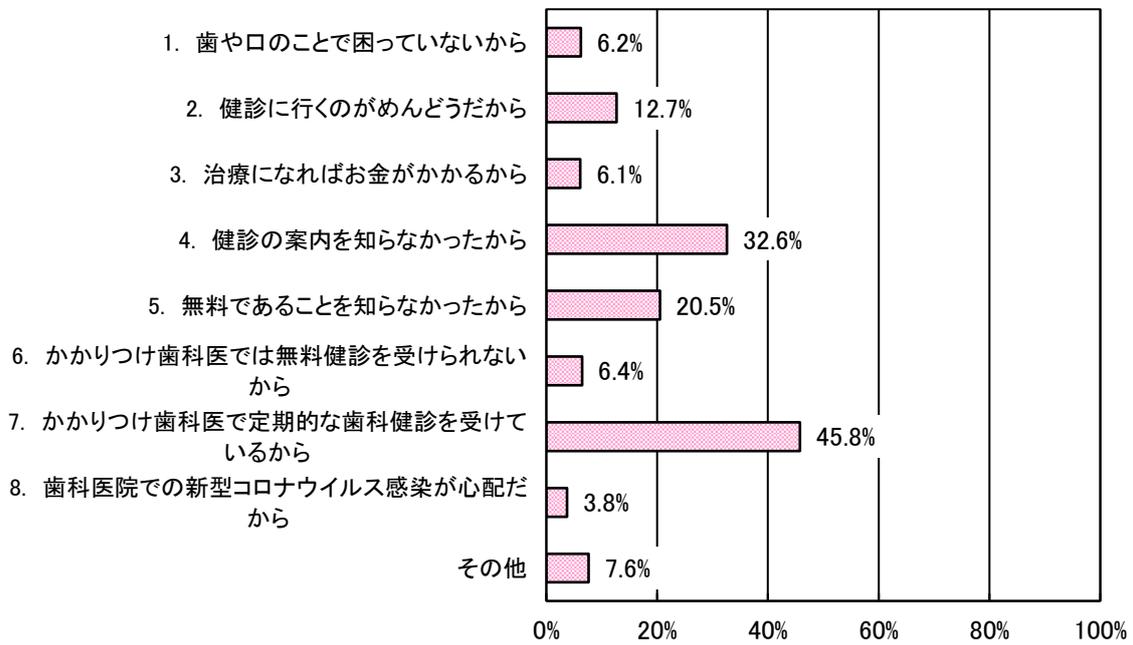
- ・妊婦歯科健診
- ・40歳歯周病検診
- ・50歳歯周病検診
- ・60歳歯周病検診
- ・後期高齢者（75歳）歯科健診
- ・65歳オーラルフレイルチェック

あなたが過去に受けた、もしくは案内が届いたら受けようと思う健診はありますか。



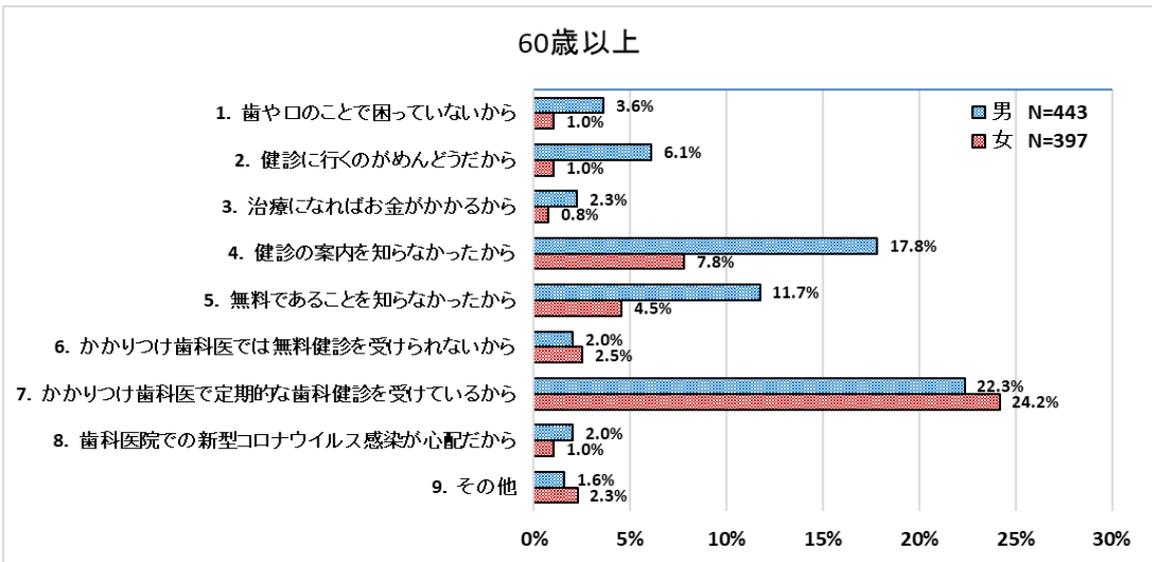
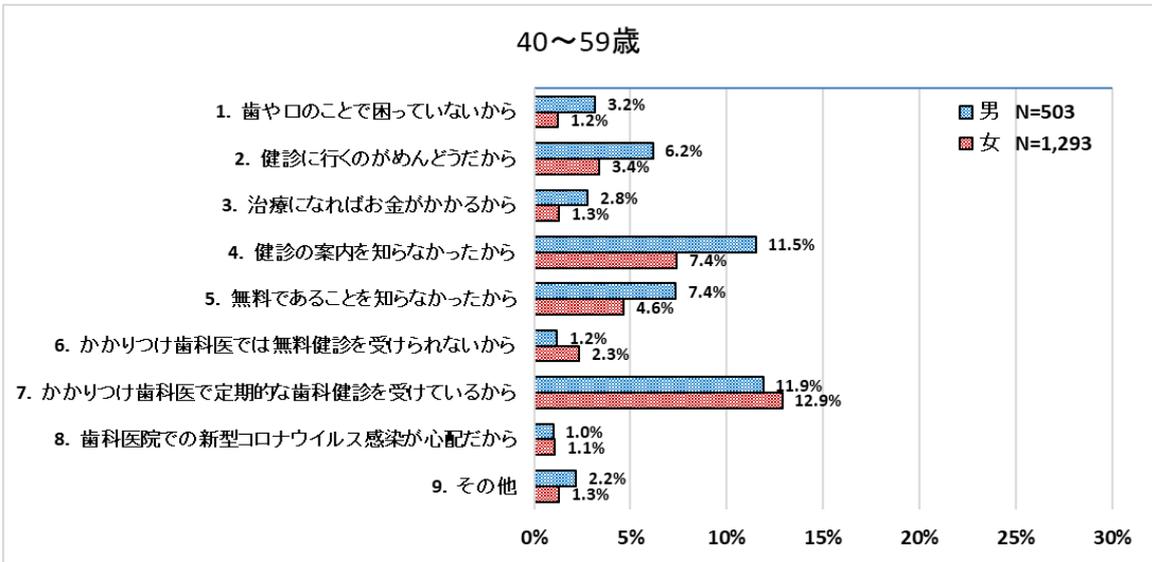
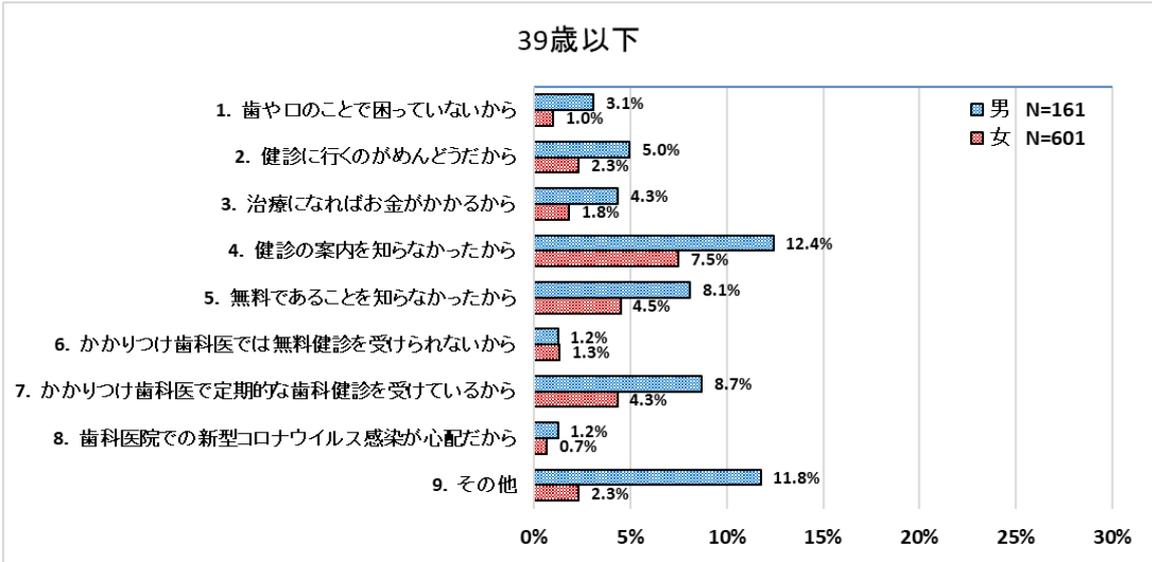
問1-1 <問1で「1. どれも受けたことがない・どれも受けようと思わない」を選択した方>その理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

N=1,009

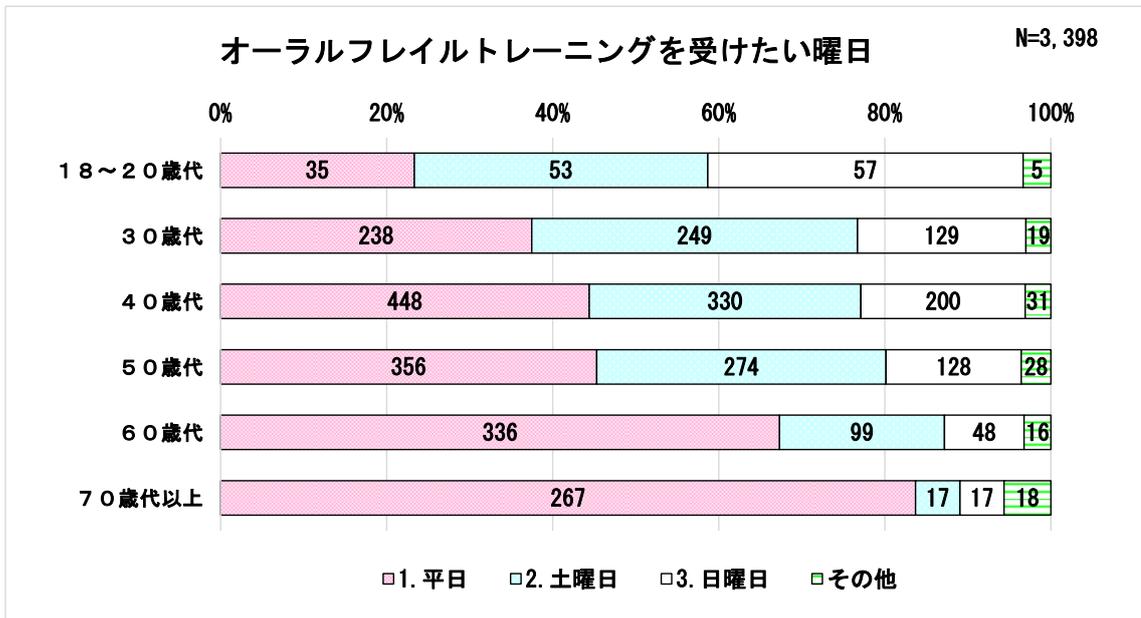
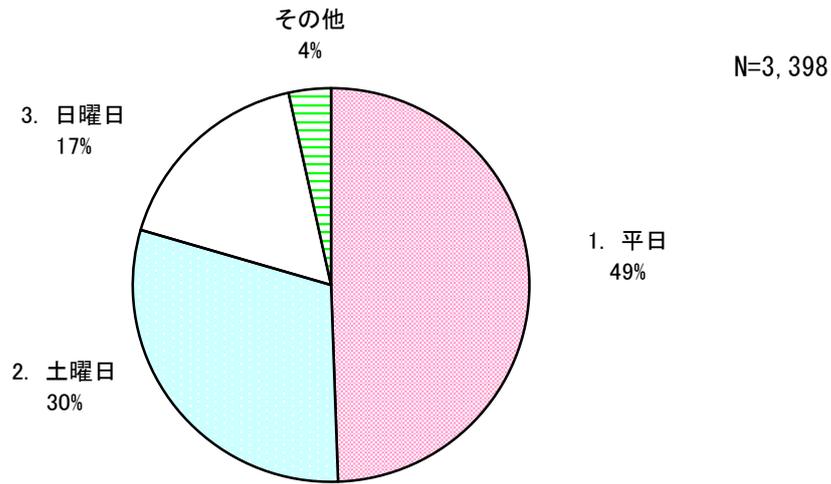


その他 82件

- ・対象年齢に達していないため 24件
- ・会社の歯科健診があるため 13件 他



問2 オーラルフレイルは、口が渇く、滑舌が悪い、むせる、食べこぼす、飲み込みにくい、噛めない食品の増加などの口の機能の衰えをいいます。放置すると、低栄養になり、4年後にはフレイルや要介護状態になる確率が2.4倍になることがわかっています。口の機能は、専門家によるトレーニング（お口の体操）等により改善されます。もしご自身が参加するなら、どの曜日が参加しやすいですか。あてはまるものを1つ選んでください。

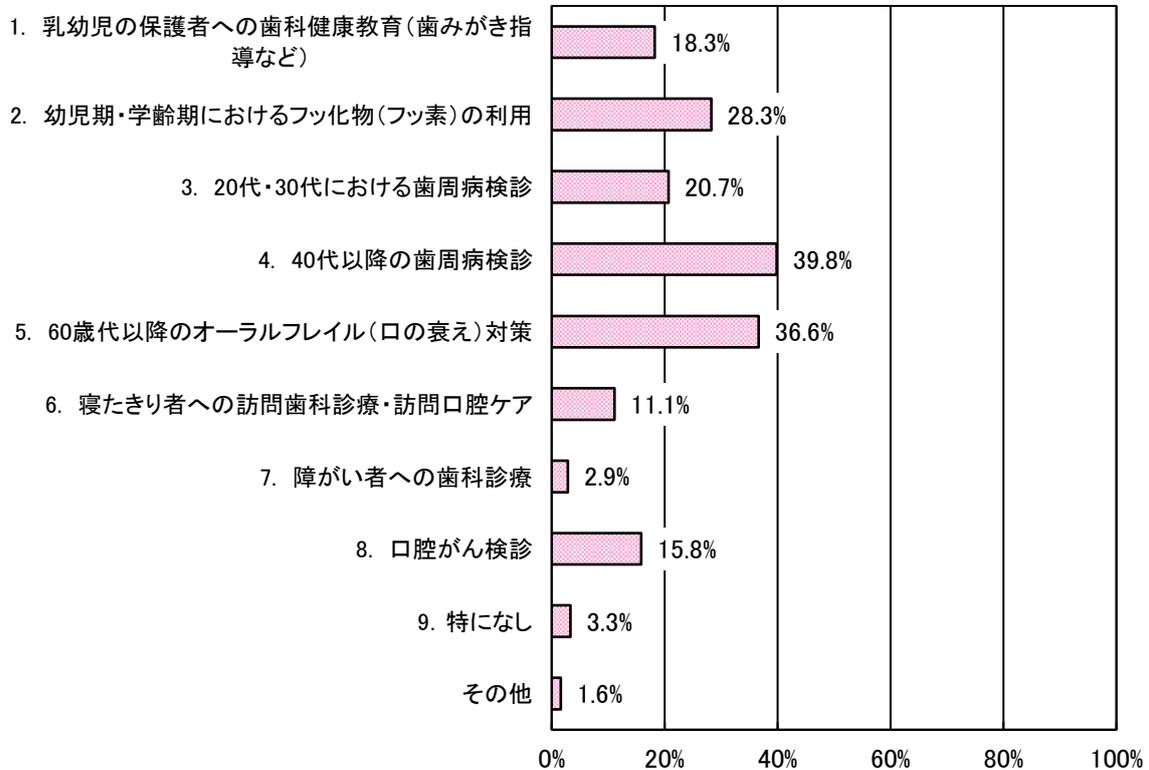


その他 119件

- ・時間による。行ける曜日で。 36件
- ・必要性を感じない。参加するつもりはない。考えていない。 31件
- ・いつでもいい。 22件 他

問3 生涯、自分の口でおいしく食べるために、どのような事業に力を入れて欲しいですか。特にあてはまるものを2つまで選んでください。(複数回答)

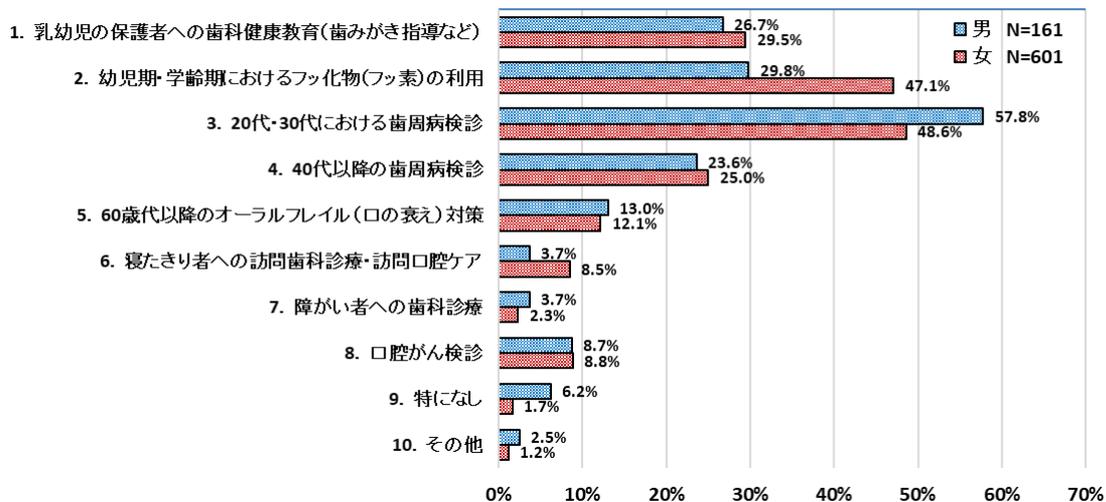
N=3,398



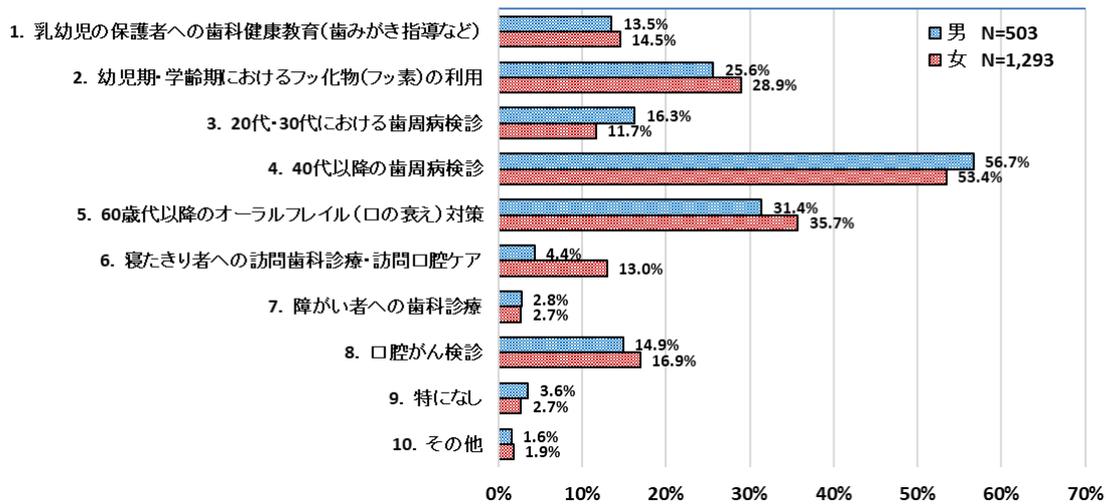
その他

- ・小学校で歯科健康教育を徹底する。歯の大切さを教える。 19件
- ・妊婦の歯科健診、定期歯科健診の無償化 11件 他

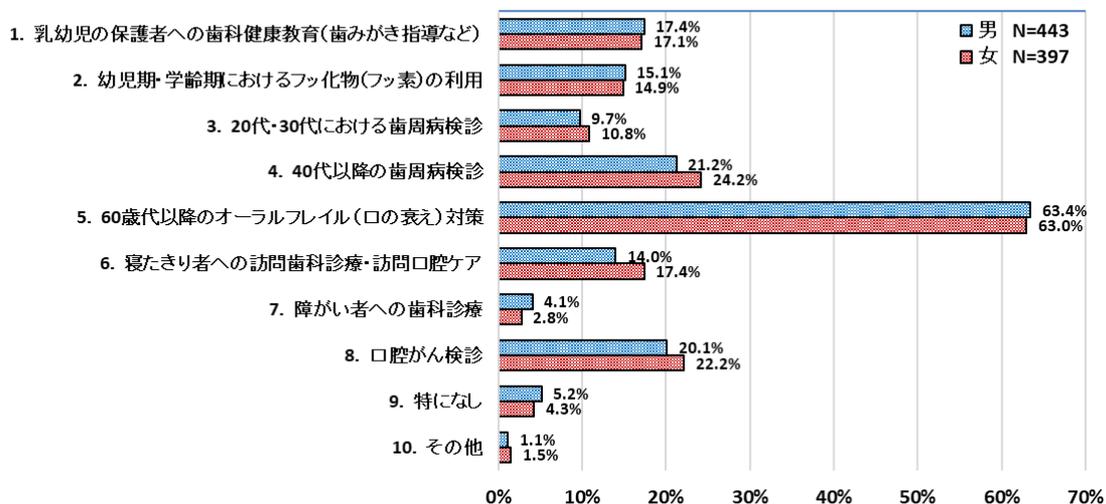
39歳以下



40～59歳

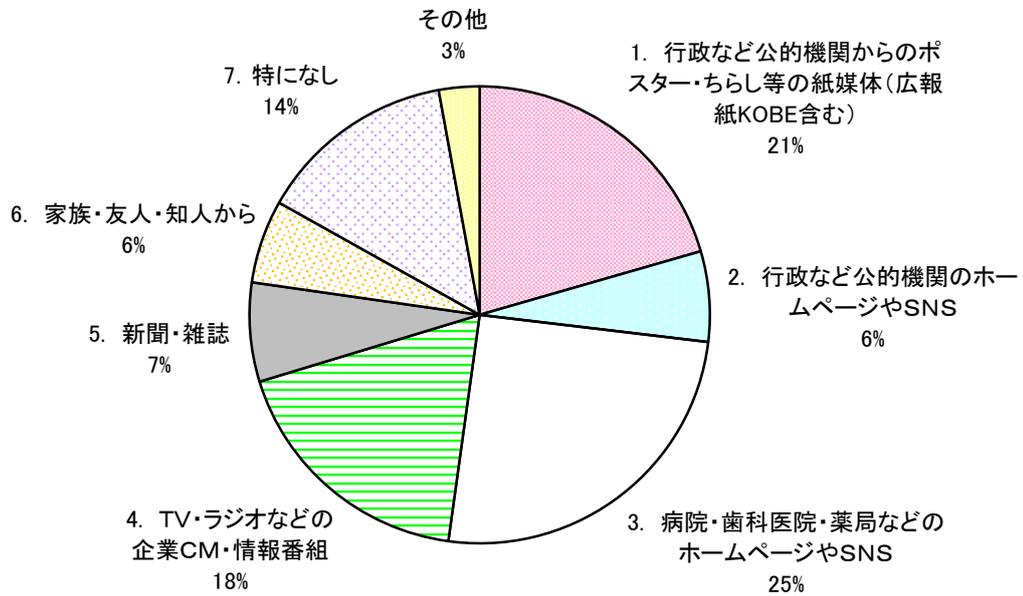


60歳以上



問4 歯や口の健康についての情報は、どのような媒体から入手することが最も多いですか。あてはまるものを1つ選んでください。

N=3,398

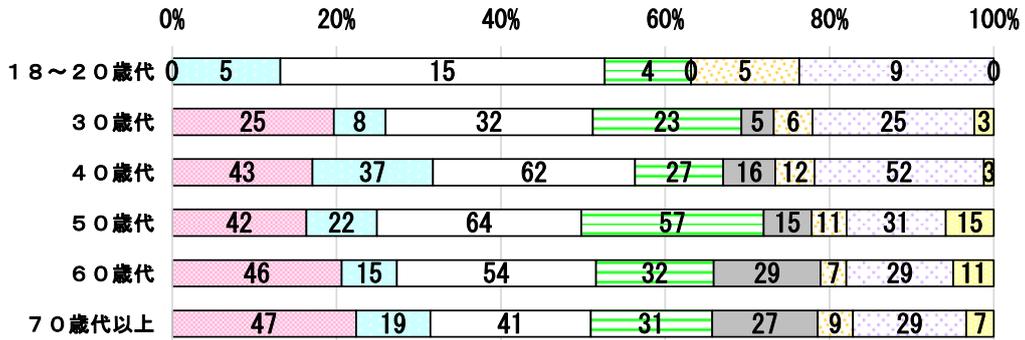


その他 97件

- ・かかりつけの歯科医院 53件
- ・インターネットやSNSから 28件 他

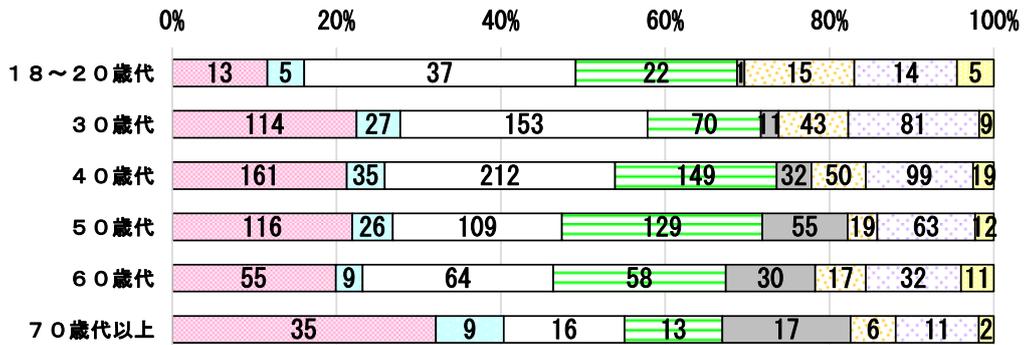
問4 男性

N=1,107



問4 女性

N=2,291



- 1. 行政など公的機関からのポスター・ちらし等の紙媒体（広報紙KOBE含む）
- 2. 行政など公的機関のホームページやSNS
- 3. 病院・歯科医院・薬局などのホームページやSNS
- 4. TV・ラジオなどの企業CM・情報番組
- 5. 新聞・雑誌
- 6. 家族・友人・知人から
- 7. 特になし
- その他

問5 歯と口の健康づくりについて、行政に望むことがあればご入力ください。

■ 定期健診に関する希望 263件

- ・ 歯科健診を一年に一回、無料で受けられたら有難いです。
- ・ 健康診断の項目に入れば、良いと思う。
- ・ 各節目の年齢層で無料の歯科健診を受けさせて欲しい。
- ・ かかりつけの歯科医院で受診しても補助が出る制度。

■ 歯科保健に関する知識、習慣づけに関する希望 198件

- ・ 乳幼児期から義務教育期間に、徹底的に歯科健康教育を実施してほしい。
- ・ 学校に歯科の専門家を招いて口腔ケアの正しい方法や知識を学ぶ機会を作ってほしい。
- ・ 小学校で歯磨きやフッ素うがいを、希望者だけでもやらせてほしい。
- ・ 誰でも見られるように年齢別の歯みがき動画などをアップしてほしい。

■ 広報に関する希望 137件

- ・ 若い世代に繰り返し周知徹底して広報してほしい。
- ・ 高齢者にとっては、紙媒体の情報発信が一番わかりやすいし、利用しやすい。
- ・ デジタルネイティブ世代へは、ネット中心の発信で構わない。

■ 事業に関する希望 73件

- ・ 高齢者や障がい者、乳幼児のための口腔ケアには、どんどん力を入れていただきたい。
- ・ 高齢者への特定健康診断の際に、歯や口の健康関係も何か盛り込めないでしょうか？
- ・ 若いうちからが大事なので、20代・30代などへ歯周病の啓発や検診をした方が良い。

■ 自費診療の補助・保険適用の拡大に関する希望 59件

- ・ ブリッジやインプラント、入れ歯等の保険適用範囲の増加。
- ・ 審美目的ではなく健康目的での歯列矯正は保険適用にしてほしい。
- ・ フッ素を無料サービスで行ってほしい。

■ 要支援者へのサポートに関する希望 45件

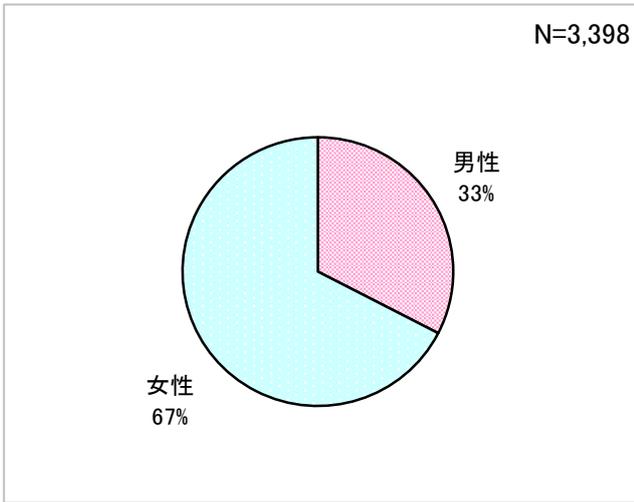
- ・ 「寝たきり者」に加えて「要介護者」も訪問歯科健診の対象に加えてほしい。
- ・ 子どもの健診と同時に保護者の健診もやってもらうことができれば安心できる。
- ・ 認知症の方や障害児者といった自分で意識できない人たちへの働きかけをしてほしい。

■ その他

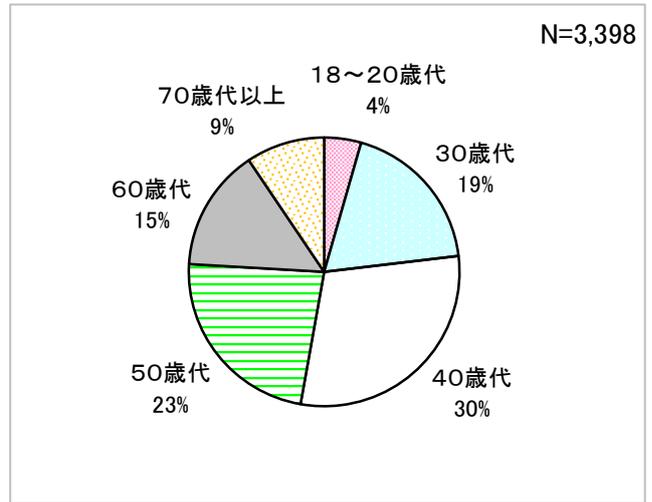
- ・ コロナの影響で幼児健診時にフッ化物塗布がされなかったが、して欲しい。
- ・ 良い歯医者を紹介してほしい。

全 975 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

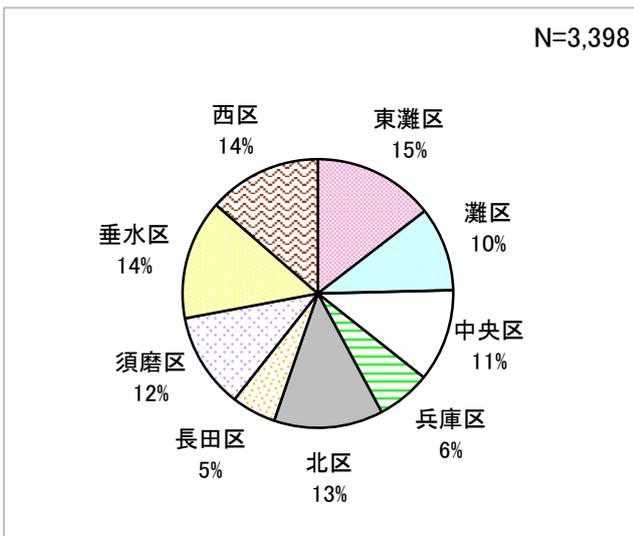
【性別】



【年代】



【区】



【職業】

